

矢口 和美 助教
博士(保健学)

Kazumi Yaguchi

✉ kazumi.yaguchi@komatsu-u.ac.jp

研究
Keyword

高齢者、家族介護者、介護職員、介護ロボット

プロフィール

2012年 一般財団法人 こまつ看護学校 専任教員
 2019年 福井県立大学大学院 看護福祉学研究所 看護学専攻 博士前期課程修了
 2020年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 助手
 2022年 公立小松大学 保健医療学部 看護学科 助教
 2023年 金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科 保健学専攻 博士後期課程修了

研究分野

高齢者看護 / 地域看護 / 在宅看護 / 介護ロボット

所属学協会

日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本看護実践学会、日本在宅ケア学会、
 日本看護学教育学会、日本うんこ文化学会、日本エンドオブライフケア学会

専門分野・研究分野

地域で暮らす高齢者・家族介護者(介護職員)の支援と
介護ロボットの有用性に関する研究

これまで看護職として、また家族の一員として、看護・介護に携わってきました。「要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最期まで続ける」ことを支援する中、多くの喜びや幸せを実感するとともに、大変さや困難さにも直面してきました。要介護状態になっても地域で自分らしく暮らすことは当たり前のように思えますが、決して容易ではありません。

高齢者人口の増加に伴い、要介護高齢者も増加の一途を辿っています。一方、介護人材の高齢化は進み、2025年には約38万人の介護人材が不足するといわれ、介護の需要と供給の不均衡が浮き彫りとなっています。このような現状において、高齢者や介護に携わる家族双方が「地域で自分らしく暮らす」ことができるよう支援していくことは課題です。

地域で介護を受けながらも自分らしく暮らしたいと願う人々、自分なりの介護と生活を継続したいと願う人々、また介護に携わる専門職として高齢者を支えたいと願う人々、その願いを実現するためのシステムづくりやテクノロジーを用いた介護機器による支援に関する研究に取り組んでいます。

研究内容

高齢者における介護ロボットの活用

近年、高齢者の自立支援や介護者の負担軽減を目的に、介護ロボットの開発・実用化の取り組みが推進されています。これまで介護老人福祉施設の介護職員と管理者を対象に、介護ロボットの管理・活用実態、介護ロボット活用による介護職員の介護観への影響、介護職員と管理者の介護ロボット有用性の認識の違い、介護ロボットの課題などを明らかにしてきました。

介護職員の介護観への影響については、先行研究において「介護は人の手で」という考え方や「介護ロボットに仕事をとって代わられる懸念」等が報告されています。しかし、我々の研究では「高齢者のプライバシーや尊厳が損なわれないよう介護ロボットを活用することができれば、介護職員の介護観にポジティブな影響を与える」ことが明らかとなりました。高齢者の人権と生活の質を守るため尊厳を守ることは、専門職としての誇りややりがいを持ち働くことにつながると考えます。

そのためには、介護ロボットを安全・安心かつ倫理的に活用するための教育体制の整備や支援体制の整備について取り組むことが重要と考えます。

最後に、あなたが介護を受ける側の立場なら…

介護ロボットに24時間見守りをされることは「安心」?それとも「拘束」ですか?

介護ロボットとのコミュニケーションは「楽しみ」?それとも「淋しい」ですか?



シーズ・地域連携テーマ例

- 在宅療養を継続する高齢者と家族介護者の支援
- 高齢者における介護ロボットの活用

論文

- Impact of care robots on caregiving values of nursing home care workers: A cross-sectional study, Yaguchi K, Kato M, Journal of Wellness and Health Care, 48(1), 19-28, 2024
- 高齢者における介護ロボットの活用—介護に携わる職員の認識に焦点をあてた文献検討—, 矢口和美, 加藤真由美, 看護実践学会誌, 34 (1), 52-62, 2022
- 看護専門学校生に対する“支援ツール”を用いた学校生活支援の実践報告, 片山美穂, 鈴木由依子, 北岡和代, 矢口和美, 前田朱美, 津田裕子, 久留留留子, 看護実践学会誌, 34 (1), 97-105, 2022

書籍等出版物

- 地域・在宅看護論Ⅱ 支援論 暮らしの場における多様な支援を考える 改訂第3版, 南江堂 (4. 移動・活動と休息の支援) 章 担当)

講演・口頭発表等

- Near misses of home health nurses involved transportation to clients' home visits, Arita M, Nakano J, Yaguchi K, 28th EAFONS 2025, 2025, 2
- 臨地実習指導者と大学教員が共通認識する看護実習生の責任ある行動の構造, 有田弥棋子, 加藤真由美, 矢口和美, 日本看護科学学会第44回学術集会, 2024, 12
- 過去10年の看護学生の死生観に関する研究の動向, 矢口和美, 彦聖美, 日本エンドオブライフケア学会第7回学術集会, 2024, 10
- 認知症者を介護する男性の死生観に関連する一考察, 彦聖美, 曾根志穂, 矢口和美, 日本エンドオブライフケア学会第7回学術集会, 2024, 10
- 特別養護老人ホーム介護職員の介護ロボットへの認識と介護観, 矢口和美, 加藤真由美, 有田弥棋子, 日本医療情報学会看護学大会第25回, 2024, 8
- 特別養護老人ホーム職員の介護ロボット活用における介護観への影響, 矢口和美, 加藤真由美, 日本看護科学学会第43回学術集会, 2023, 12
- A市生活者の排便状況に関する実態調査: 排便状況と困りごと, 徳田真由美, 矢口和美, 清水由香里, 榎原千秋, 角地孝洋, 日本うんこ文化学会第3回学術集会, 2023, 12
- 臨地指導者と大学教員が認識する臨地実習における看護学生の責任ある行動: 動詞焦点化の計量テキスト分析, 有田弥棋子, 矢口和美, 日本看護学教育学会第33回学術集会, 2023, 8
- Usefulness of Care Robots in Nursing Homes JAPAN: Comparison of Perceptions of Managers and Care Workers, Yaguchi K, Kato M, IAGG Asia/Oceania Regional Congress 2023, 6
- MANAGEMENT AND ACCIDENTS RELATED TO CARE ROBOTS IN JAPAN: A CROSS-SECTIONAL SURVEY OF NURSING HOME MANAGERS, Yaguchi K, Kato M, 26th EAFONS 2023, 2023, 3
- 特別養護老人ホーム職員の介護ロボットの活用状況に関する認識と関連要因, 矢口和美, 加藤真由美, 日本看護科学学会第42回学術集会, 2022, 12
- ISSUES IN THE UTILIZATION OF CARE ROBOTS RECOGNIZED BY THE MANAGERS OF NURSING HOMES, Yaguchi K, Kato M, 25th EAFONS 2022, 2022, 4

社会貢献活動

- 小松市介護認定審査委員 (2023年度-2024年度)